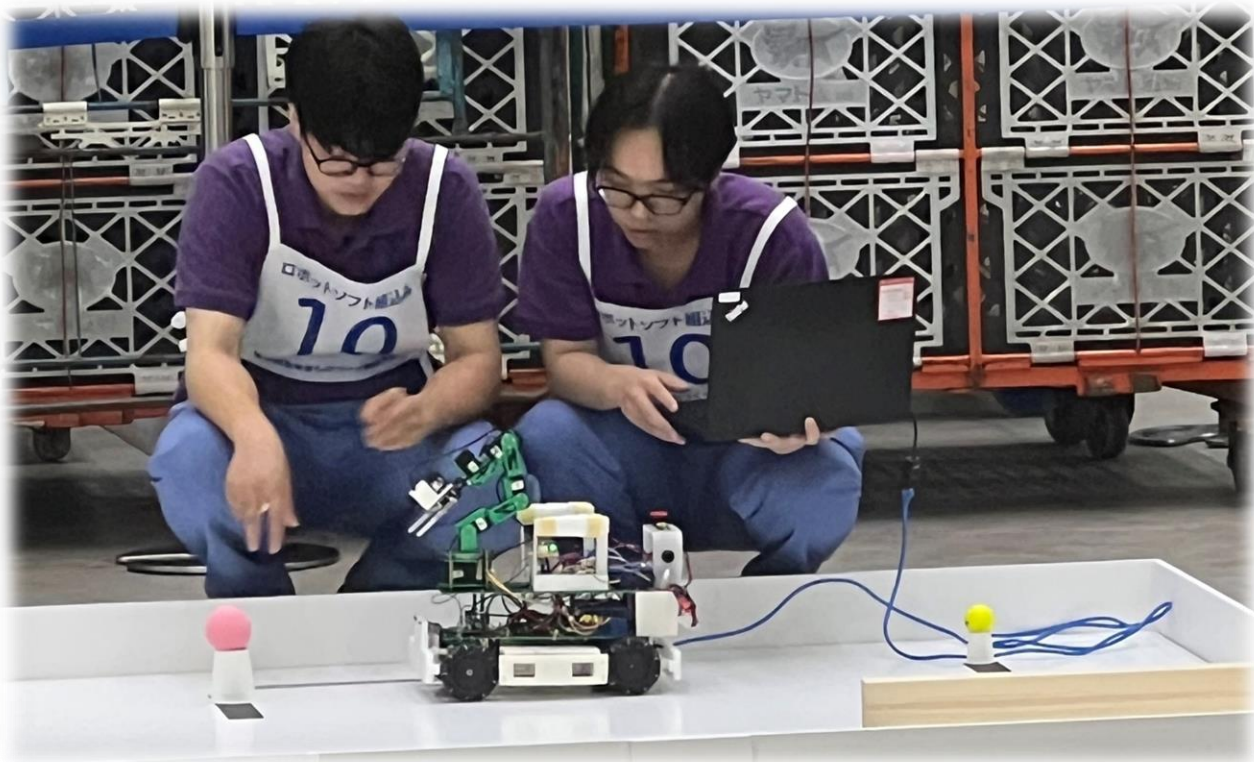


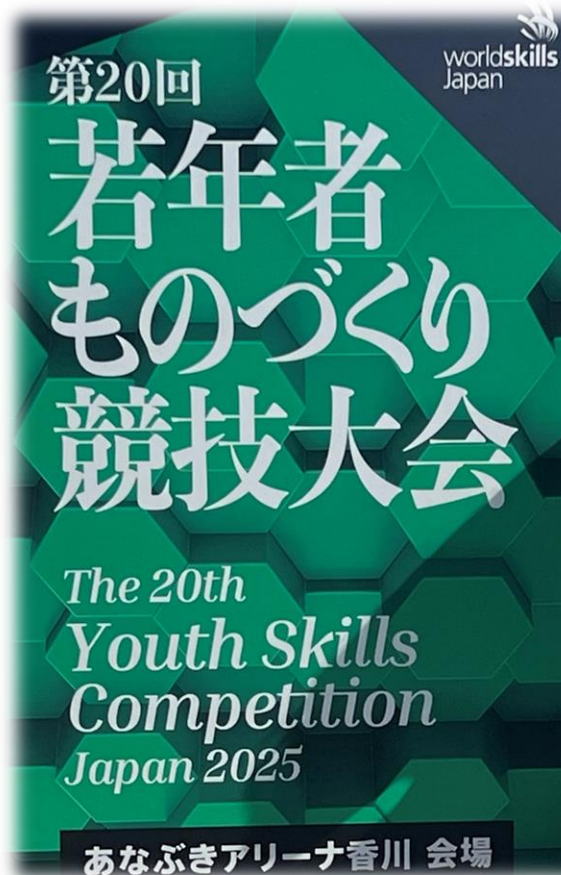
第20回若年者ものづくり競技大会に参加しました！



若年者ものづくり競技大会は、技能を習得中の20歳以下の若者の技能レベルを競う競技会で、技能五輪ユース大会とも呼ばれています。今年は全部で15職種の競技が行われました。大会は8/3～4香川県のあなぶきアリーナ香川等の会場にて開催されました。

当校から参加したのは
「電子回路組立て」職種に 井上さん、
「ロボットソフト組込み」職種に
瀧川さんと 西森さん
(3名とも電子情報技術科2年生) です。

「ロボットソフト組込み」職種の競技は2人1組（チーム）で行います。競技者は、パソコンを使用して、当日公表された動作プログラムを作成し、実際にロボットの動作を確認するまでを競います。ロボットの制御プログラムや、ジャイロセンサーなど様々なセンサーからの入力データを処理するプログラムを作成していきます。作業するにあたり制限時間や安全に配慮したプログラムの作成など様々な規定があります。当校のチームは序盤、パソコンから無線でプログラムを送信する際に混線してしまうトラブルや、ロボットの部品が破損するなどのトラブルがありましたが、無線を有線で行うようにしたり、壊れた部品を修理するなど対応をして無事ロボットを動作させることができ、ロボットアームでボールを搬送することができました。



「電子回路組立て」職種では、競技者は用意された回路基板にLEDやスイッチなど電子部品をはんだ付けをして実装し、動作確認検査を行います。また、パソコンを使ってマイコンと呼ばれる小さいコンピュータにプログラムを入力して当日公開される6つのプログラム課題どおりに動作するかを競います。今年から課題となる回路基板が新しくなり、当日公表されるプログラム課題もハイレベルなものとなり、レベルの高い競技大会となりました。

どちらの職種も残念ながら入賞は逃しましたが、3選手ともに競技に真剣に取り組み健闘しました。みなさんお疲れさまでした！